

音響技術開発センター「4輪シャーシダイナモ」試験設備導入

完成車の音響性能評価では、これまでFF車の試験しか対応できませんでしたが、4輪シャーシダイナモの導入により、前後輪からの模擬路面走行入力が可能となり、4輪駆動車の試験も行えるようになりました。その結果、車室内外の加速騒音だけでなくロードノイズなどの走行時のトータルでの評価が可能となり、顧客から求められている文字通りの車1台分の防音パッケージの提案が可能となりました。

本センターでは、開発能力および開発効率の向上を図り、技術開発体制の確立に加えて、今後増加してくるハイブリッド車や電動車両（EVやFCV）を含め、軽から普通乗用自動車までの車両に対する防音製品の開発とともにその受注活動に貢献して行きます。

今回導入した主要な試験設備は、以下の通りです。

- ① 前後輪入力による台上模擬走行が可能な4輪シャーシダイナモ
- ② 材料単体や完成車、エアコンなどの振動音響性能評価試験が可能な大型無響室
- ③ 残響室法吸音率測定用小型残響室の整備



①



②



③